

地域計画

策定年月日	令和7年3月28日
更新年月日	()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	兵庫県三木市 (28215)
地域名 (地域内農業集落名)	久留美 (与呂木)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	31.44 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	28.15 ha
② 田の面積	30.91 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	0.53 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	3.36 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0 ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	－ ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	－ ha
(備考)規模拡大の意向のある農地面積の合計 6.8～7.1ha(3, 11, 13, 49, 58) ※()内は目標地図上の表示	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

- ・地区外居住耕作者の割合が高く(約1/4)、水路管理等の共同作業の持続的な人員確保に不安がある。
- ・JAライスセンターの隔日利用が始まって以来、適時刈取りに苦慮している。早期の全日利用再開を望む強い声がある。
- ・農業者の年齢は50代後半から70代前半が多く、高齢農業者の割合が高い(61.9%)。
- ・現状では、親族、近隣農業者やJAの協力を得ながら大規模な耕作放棄地を発生させることなく耕作を行っている。
- ・規模拡大や現状維持の意向のある農家が33件(76.7%)あり、条件次第で今後10年程度は地区内の農地の維持管理は可能と考えられる。
- ・多面的機能支払交付金を活用し、水環境(ため池、水路)の維持を行っているが、今後の農業者の更なる高齢化に伴い、水路や畦畔の維持管理が困難になることが予想される。
- ・現状は専業及び兼業の個人農家が主となっているが、機械代等の高騰により小規模な個人経営は難しくなることが予想される。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

- ・山田錦を主要作物としつつ、現在の耕作地の継続的な維持を図る。加えて、山田錦以外の作物の高付加価値化や新たな販路開拓についてJA、行政と連携し進め、地域農業を持続性のある地場産業として発展させる。
- ・持続可能な体制として、中核的農家等への農地の集約を進めるとともに、農家間連携の強化や新たな営農主体(集落営農組合など)の設立等を含め、地域ぐるみで多様な経営体の確保・育成を図っていく。
- ・地区内・外の耕作者の一層の連携強化が図れるよう、情報・ルールの共有を含めた方策を考える。
- ・また、農業者の高齢化に対応した水路や畦畔の効率的な管理方法の検討を進める。
- ・ライスセンターの全日利用再開を含めたセンターの機能強化・利便性向上策をJAと共に考える。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
・現状は専業及び兼業の個人農家が主となっているが、機械代等の高騰により小規模な個人経営は難しくなることが予想される。 ・持続可能な体制として、中核的農家等への農地の集約を進めるとともに、農家間連携の強化や新たな営農主体(集落営農組合など)の設立等を含め、地域ぐるみで多様な経営体の確保・育成を図っていく。 ・また、農業者の高齢化に対応した水路や畦畔の効率的な管理方法の検討を進める。 ・地区内・外の耕作者の一層の連携強化を図れるよう、情報・ルール共有を含めた方策を考える。 ・ライスセンターの全日利用再開を含めたセンターの機能強化・利便性向上策をJAと共に考える。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	10	%	将来の目標とする集積率
			27 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
・担い手が利用する農地面積の団地数及び面積は、2箇所(令和5年度時点) ・離農、規模縮小が生じた場合、農業委員等と調整し農地中間管理機構(農地バンク)等を通じて中核的農家等への農地の集約を図る。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
・離農、規模縮小が生じた場合、農業委員等と調整し農地中間管理機構(農地バンク)等を通じて中核農家の等への農地の集約を図る。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
・個別で管理できなくなった場合は、農地中間管理機構(農地バンク)に貸し付け、段階的に集約化する。その際、農業委員等と調整し、所有者の貸し付け意向に配慮する。
(3) 基盤整備事業への取組
・基盤整備事業の未実施農地については、土地利用の将来像について地区内での話し合いを進める。 ・将来とも農地として利用するエリアについては、パイプラインの整備等 農地を効率的に管理する方法を検討する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
・持続可能な体制として、中核的農家等への農地の集約を進めるとともに、農家間連携の強化や新たな営農主体(集落営農組合など)の設立等を含め、地域ぐるみで多様な経営体の確保・育成を図っていく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業体等への農作業委託の取組
・作業の効率化が期待できる農業サービスは、JA等への委託を進める。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

--

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
	別紙のとおり								
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	0経営体		0 ha	0 ha		0 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
		病虫害駆除、乾燥調製	水稻

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作物等	経営面積	作業受託面積	経営作物等	経営面積	作業受託面積	目標地図 上の表示	備考
利用者		水稲	0.02 ha	ha	水稲	0.02 ha	ha	1	
利用者		水稲麦大豆野菜	0.92 ha	ha	水稲麦大豆野菜	0.92 ha	ha	2	
利用者		水稲	1.60 ha	ha	水稲	1.60 ha	ha	3	
利用者		水稲	0.52 ha	ha	水稲	0.52 ha	ha	4	
利用者		水稲麦大豆	1.24 ha	ha	水稲麦大豆	1.24 ha	ha	5	
利用者			0.02 ha	ha		0.02 ha	ha	6	
利用者		水稲	0.82 ha	ha	水稲	0.82 ha	ha	7	
利用者		水稲麦大豆野菜	1.55 ha	ha	水稲麦大豆野菜	1.55 ha	ha	8	
利用者		水稲	0.17 ha	ha	水稲	0.17 ha	ha	10	
利用者		水稲野菜	1.58 ha	ha	水稲野菜	1.58 ha	ha	11	
利用者		水稲	0.56 ha	ha	水稲	0.56 ha	ha	13	
利用者		水稲	0.55 ha	ha	水稲	0.55 ha	ha	15	
利用者		水稲麦大豆野菜花き果樹	0.62 ha	ha	水稲麦大豆野菜花き果樹	0.62 ha	ha	18	
利用者		水稲	1.04 ha	ha	水稲	0.00 ha	ha		
利用者		水稲野菜	0.52 ha	ha	水稲野菜	0.52 ha	ha	20	
利用者		水稲	0.86 ha	ha	水稲	0.86 ha	ha	21	
利用者		野菜果樹	0.56 ha	ha	野菜果樹	0.00 ha	ha		
利用者		水稲野菜花き	1.62 ha	ha	水稲野菜花き	1.62 ha	ha	24	
利用者		水稲	0.09 ha	ha	水稲	0.09 ha	ha	25	
利用者		野菜	0.03 ha	ha	野菜	0.03 ha	ha	26	
利用者		水稲	0.27 ha	ha	水稲	0.00 ha	ha		
利用者		水稲野菜	1.15 ha	ha	水稲野菜	1.15 ha	ha	28	
利用者		野菜	0.09 ha	ha	野菜	0.09 ha	ha	30	
利用者		麦大豆	0.00 ha	ha	麦大豆	0.00 ha	ha	31	
利用者			0.08 ha	ha		0.08 ha	ha	32	
利用者			0.47 ha	ha		0.47 ha	ha	33	
利用者		水稲麦大豆	1.87 ha	ha	水稲麦大豆	1.87 ha	ha	35	
利用者		水稲	0.48 ha	ha	水稲	0.48 ha	ha	36	
利用者			0.23 ha	ha		0.23 ha	ha	38	
利用者		水稲	0.52 ha	ha	水稲	0.52 ha	ha	40	
利用者			0.67 ha	ha		0.67 ha	ha	42	
利用者		水稲	0.05 ha	ha	水稲	0.05 ha	ha	43	
利用者		水稲	0.50 ha	ha	水稲	0.00 ha	ha		
利用者		水稲	0.63 ha	ha	水稲	0.63 ha	ha	45	
利用者		水稲	0.27 ha	ha	水稲	0.00 ha	ha		
利用者		水稲野菜	2.68 ha	ha	水稲野菜	2.68 ha	ha	49	
利用者		水稲果樹	0.39 ha	ha	水稲果樹	0.39 ha	ha	51	
利用者		果樹	0.71 ha	ha	果樹	0.71 ha	ha	52	
利用者			0.05 ha	ha		0.00 ha	ha	53	
利用者		水稲	0.68 ha	ha	水稲	0.68 ha	ha	54	
利用者			0.10 ha	ha		0.00 ha	ha	55	
認農		水稲麦大豆	3.17 ha	ha	水稲麦大豆	2.60 ha	ha	56	
利用者		水稲野菜	0.27 ha	ha	水稲野菜	0.27 ha	ha	57	
利用者		水稲	1.18 ha	ha	水稲	1.18 ha	ha	58	
			ha	ha		ha	ha		
計			31.40 ha	0 ha		28.04 ha	0 ha		